

風のように

甘木教会



主任牧師：崔大凡

牧会委嘱牧師：竹田孝一

シモン・バルヨナ、あなたは幸いだ。あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ。わたしも言うておく。あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。 マタイによる福音書16：17－18

【説教要旨】

キリストに捕らえられて生きる信仰者は、常に私の信仰とはと問われて生きるといことではないでしょうか。それが、毎週の礼拝において、信仰告白という形で見えて、口で表していくのです。具体的には聖餐式のときには「二ケア信条」、それ以外は、「使徒信条」です。

使徒信条で、「我は公同の教会を信ず」と私たちは礼拝の中で唱えますね。「公同の教会」と訳されている言葉は、「カソリック」という言葉です。カトリック教会と言いますね。それは、「公同の教会」ということで、公同の教会とは、普遍的教会であるということ、全ての人に開かれた教会であるということです。

使徒信条を「クレド」と言います。「・・・を我、信じる」ということが繰り返されているように「我、信じる」ということについて、私たちは繰り返し唱えているのです。私たちの「信仰」について私たちは唱えているのです。先週から「信仰」ということについてのみ言葉を私たちは聞いています。今日の日課で教会という言葉が出てきます。ペテロが「あなたはメシア、生ける神の子です」と告白した後です。

すると、イエスはお答えになった。「シモン・バルヨナ、あなたは

幸いだ。あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ。わたしも言うておく。あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の力もこれに対抗できない。わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。あなたが地上でつなぐことは、天上でもつながれる。あなたが地上で解くことは、天上でも解かれる。」

教会の起源といってもよいイエスさまのお言葉です。素直に読んでみますとイエスさまはペテロの上に教会を建てるといわれています。そして、この普遍的、全ての人に開かれた教会の鍵を託されたのがペテロだということです。

カトリック教会は、ペテロが殉教した地、ローマにあるバチカンの教会で、ここにいる教皇がペテロの権威、ペテロ座というのですが、これを継いでいくのだということです。この根拠が今日の聖句なのです。しかし、私たちは、「**共同の教会を信ず**」というとき、このようには受けとめません。

あなたの上に教会を建てるといわたペテロという人物は皆さんもよく知っておられますように実にイエスさまに叱られた人ですね。先々週は、「**信仰の薄い者よ**」と叱られています。

強い風に気がついて怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。イエスはすぐに手を伸ばして捕まえ、「**信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか**」と言われた。

さらに聖書の物語を進めるとこの直後に「イエスは振り向いてペトロに言われた。『サタン、引き下がれ。あなたはわたしの邪魔をする者。神のことを思わず、人間のことを思っている。』」とされています。サタンであり、イエスの業を邪魔する者である者の上に教会を建てると言われているのです。

強い風に気がついて怖くなりとは、ペテロが自分で強く判断し、主への信頼を失ったとき、突き詰めていくな**ら神のことを思わず、人間のことを思っている**ときです。

教会を建てる、それはあなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだというときです。

「教会を信じる」と言いますが、いつの時代も教会の現実の

姿をみると、ペテロのように「神のことを思わず、人間のことを思っている」ということを覆い隠せない、愚かさ、貧しさ、弱さを見せ、人間的な立場で、教会のありかた、自分の生き方を見ています。しかし、神は、実に愚かで、貧しい、弱い者であるペテロをもちいてくださり、「あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。」と言われ、教会をお建てになられるのです。この現実の中で、神の働きがあるということを忘れてはいけません。では、公同教会の歩み方、ここに集う私たち一人一人の生き方はなんなのでしょう。

「あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ」とあなたにこのことを現した」とはなんでしょう。シモン・ペトロが、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えた。教会は、またここに集う者は、「イエスはメシア、生ける神の子です」と告白することです。そして教会はキリストを土台として作ら、人間ではなく、わたしの天の父に導かれて歩む者であるということです。

「あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。」と言われる教会は、「あなたはメシア、生ける神の子です」という告白したペテロ、この真理の上に教会はあるのだということを私たちは見ていかないと、私たちは覆い隠せない、愚かさ、貧しさ、弱さがあり、ここで崩れそうになります。それでもなお「聖なる、公同教会を信じる」と信仰の告白をするのは、ここに働かれているのは、「あなたはメシア、生ける神の子です」というキリストの業が働き、私をここに立たせてくださっているのです。神の、キリストの、そして働きあって私たちの教会はあります。使徒信条は「我は聖霊を信ず」という言葉が語ることです。

そして、組織としての教会は消えていくこともあるかもしれない、しかし、「あなたはメシア、生ける神の子です」という教会は終わりの時まで続くのです。あなたが地上でつなぐことは、天上でもつながれる。あなたが地上で解くことは、天上でも解かれる。

牧師室の小窓からのぞいてみると

税



食品の消費税を減税にするかどうかは政治のテーマになっている。減税した時のこれを保証する財源をどうするか危ぶまれている。財源がないなら、すぐに削られるのは福祉、教育、医療の財源となる。それは私たちの生活を直撃する。

そもそも税金が私たちの生活を支えてられていくのに必要であり、正しく税金が私たちに配分されていくというなら、税を上げる、下げるという議論はもっと意味あるものになるのではないだろうか。そのことはずっと言われているが、ここに議論にいたるのはなかなかないというのも現実であり、残念である。

「皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい。マタイ：22：21 新共同訳聖書」の意味を味わうとことが大切。

園長・瞑想？迷走記



日善幼稚園は、夏休みも預かり保育の子どもたちもやってくるが、主任が先生の配置をしてくださり、酷暑だが、今のところ無事には保育がなされている。

ルーテル羽村幼稚園は、保育園と同じように休みはないが、副園長が責任をもっていただき、ここも無事に保育がなされている。

休園中の聖和幼稚園は、子どもがいなくて、放っておくと園庭に草が生えるので、園庭の草抜き、芝生の手入れを、日差しの弱い早朝に園に行き、通常の掃除、水撒きをしている。出来れば、園舎の窓枠、柱、園具までペンキを塗りたいが、なかなか出来ない。それぞれの園に夏の顔があり、その顔を見ながら自分の出来ることをしている。

幼稚園の制度も時々刻々と変化していくので事務書類の整えをしなくてははいけない。

園は夏休みだが、園長、理事長の夏休みは、なかなか難しい。仕事を楽しむことが休みかもしれないと思うようになっている。

日毎の糧



聖書：主は高くいましても／低くされている者を見ておられます。遠くにいましても／傲慢な者を知っておられます。わたしが苦難の中を歩いているときにも／敵の怒りに遭っているときにも／わたしに命を得させてください。御手を遣わし、右の御手でお救いください。主はわたしのために／すべてを成し遂げてくださいます。主よ、あなたの慈しみが／とこしえにありますように。御手の業をどうか放さないでください。

詩篇138：6～8



ルターの言葉から

神が低い者を顧みてくださるということを知っている人は、神を正しく知っています。1523年説教から

『マルティン・ルター日々のみことば』鍋谷堯爾編訳 いのちのことば社

低きに下りたもう神

138篇から145篇の詩篇はダビデの小詩集と呼ばれ、

138篇は、最初の詩篇である。

詩の構成は、三部からなる。①

- 1) 感謝、讃美の詩 (1節～3)
- 2) 全地の王であるヤハウェを宣揚 (4節～6節)
- 3) 救いを求める願ひ (6節～8節)

ここで注目したいのは、「主は高くいましても／低くされている者を見ておられます。」という言葉である。「本詩において地上の王たちが讃えるヤハウェの偉大さは、高き存在でありながら、『低き者』に眼を留め、『高き者を遠くから知っている』ことにある。(6節)。最後の行には、『低き者』と『高き者』が並べることによって、ヤハウェは高ぶる者を低くし、低みにある者を高める神であることを暗に表明しているのであろう。」①

私たちの神は、かくも低きものを顧み、そしてイエス・キリストにおいて低き所まで下ってくださり私たち共にいてくださる。

引用：①詩編の思想と信仰VI 月本照男 新教出版

祈り：低き私たちところまで下り給うて慈愛を注いでくださる神と共に歩めますように。アーメン。

甘木通信

天が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある。生るるに時があり、死ぬるに時があり・・・わたしは神が人の子らに与えて、ほねおらせられる仕事を見た。神のなされることは皆その時にかなって美しい。



伝道の書 3 章

「盆に思う」

先週、孫の誕生日であった。「この子の成人を見るには、何歳なのかな。」「お父、義父さん、お母、義母たちは、内の子の成人を見たかな。」「あんたの義父さんだけが見ていないよ。」とたわいもない夫婦の会話をしていた。

優しい長男は、しばしば義父、義母老夫婦を訪ねては、小遣いをせしめていたようである。92歳で天に行かれたその義父の召天日が近づいていることに珍しく気づいた。盆だからだろうか。

臨終の前には、孫、子どもらに会い、娘の私の妻に看取られながら天に帰った。高田派浄土真宗の寺で。葬儀は、義母、孫7名、子どもら夫婦6名の家族葬であった。天に送った。義父は、一代で鰹節問屋を築いたが、財産は残さなかった。二人の息子、一人の娘を育て、孫7名という命の繋がりを遺した。孫、それぞれに祖父の面影を遺して去っていった。それが財産だろう。

命という財産、変え難い財産であった。長男は今でも時々、墓参りをしている。孫の成人は19年後、義父と同じように92歳まで生かされなければならない。時ありかな？。

(甘木日記)土) 陽射しも弱く、風も吹き、絶好の草取り日。敗戦記念日、平和が続きますように。日) 敗戦から一番近い主日を平和主日と守る。平和はいいですね。月) 日善幼稚園で仕事。長男が来てくれて明日から甘木教会のピアザ窯作りをしてくれる。母親と隣に息子が寝ている。平和、いいですね。火) 聖和幼稚園の会計事務。長男と信徒さんがピザ窯作り。家族3人で夜は公営温泉。教会泊。水) 今日も甘木。私は会計事務。長男は信徒さんらと集いの場を作ってくれている。木) 松崎保育園、日善幼稚園の仕事。くいうときももっともっと勉強がしたくなる。金) 今日は監査の指導を受けに東京。

おまけ・牧師のぐち（続日記）牧師だって神さまの前でぐちります。
はぐちらない聖人（牧師）もいますが。

土）朝から羽村幼稚園の事務処理、机の整理、PCのデータ整理をしていると甘木にいく時間となる。本の入れ替えのために読んでいただきたい本をもっていく。主日の準備をし、日差しも弱く、風もあり草取りをしていると隣のお寺にはひっきりなしに車がやってくる。お盆か。そして敗戦記念日。いつでもお参りに



いける平和の日々が続いてほしい。気づくと涼しそうにナツズイセンが開花していた。よく、働いた。夜は公営温泉へ。日）いつものような日課。平和を覚えての礼拝、旅の途中のカトリック教会の方が礼拝に出席くださる。ホームページを見て来られたということである。礼拝後の交わりと続く。暑い中を皆さんが共に集ってくださる。月）日善幼稚園で仕事。将来に向かって少しづつ一步を踏み出す。「園だより」の原稿を作りながら、

「もう二学期」と思う。夕刻、大阪から長男が甘木教会、聖和幼稚園の修繕とピザ窯作りに来てくれる。夕方、家内の作った夕食と一緒にする。この子らも私もいつも家内の変わらない美味しい食事を守られてきたと幸せを感じる。子どもらの成長に良かったかと感謝。火）朝、甘木へ。信徒さんと暑い中を長男はピザ窯作り。私は聖和の園長と幼稚園の会計事務作業。休園しても日々の会計は動く。あらましで来たのだが十分でなく、作業の手は止まらない。聖和幼稚園の外作業も夕刻まで続く。昼食など信徒さんがおいしいお稲荷さんとおにぎりを届けてくれる。夕刻にはアイスクリーム。家族で町営の温泉に。愛知にいたときは家族でよくスーパー銭湯に行った。水）今日も会計作業、息子と信徒さんらは引き続き幼稚園の外仕事。他の信徒さんも手伝いに来て下さる。また差し入れをいただく。私の幼稚園会計の事務作業は終了し、役員にメールで送る。久しぶりの数字と資料と格闘し、会計事務作業で楽しく終えた。やっとぴったりと合って、気持ちが良い。次は園舎の外装をこの夏には本格的にしようと思っているが、焦らずに、焦らずに。木）午前中は松崎保育園で、職員聖研・哀歌、園児の礼拝・平和のすばらしい神のプレゼントと。すぐに日善幼稚園で夏季保育参加。事務処理の打ち合わせ。保護者の協力でそうめん流し。夜、甘木に水撒き。よく動く。見ると隣の道路側に百日紅の花が映える。

金）バス一番、空港に。会計事務で、東京。

